



FDD基板 改造位置 プロット図  
S=N/S

1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改修を行うこと。

2. 材料

TFD-310 (コントロールチップに DN8862FAQ を搭載した個体)

3. 改造内容

- A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、パターンを切断する。
- B. コントロールチップから 34 番ピンへ Disk Change を出力するように設定されているので、設定変更を行う。  
「DC」パターンがハンダでショートしてあるので、ハンダを吸い取りオープンとする。
- C. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、「DS1」の 0ohm の抵抗を「DS0」へ移設する。
- D. コントロールチップから 34 番ピンへ Ready を出力するように設定を行う。  
「RDY」パターンへ 1k ohm の抵抗を新設する。

4. 特記事項

- A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンアサインに注意すること。
- B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。
- C. 本 FDD は Ready 信号と Disk Change 信号を同時には出力できない。  
PC-9800 シリーズでは Ready 信号が出力可能であれば、実態としては不具合は生じないと考えられるが、Ready 信号 と Disk Change 信号を同時に必要とするような他機種への応用はできないので、注意すること。

工事名称 PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画	工事設計図	縮尺 N / S	1
図面名称 TFD-310 改修図			1
 <b>試運転の資料館</b> Library of Shiunten			